



まちづくり活動とは、広く市民に開かれ、地域課題解決に向けた取り組みを行っている公益的な活動をいいます。まちづくり活動によって、地域が元気になり、活動者自身もその効果を実感できる取り組みを想定しています。

■まちづくり活動助成金 詳細(市ウェブサイト)

<https://www.city.kakamigahara.lg.jp/life/shiminsanka/1001857/1001859/1001860.html>



事業名 アンケートによる住民の意向調査事業

団体名 耀く大野町まちづくり委員会

【事業概要】

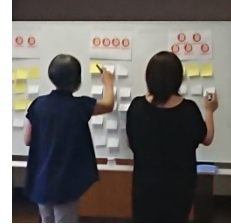
大野町住民(約 360 世帯)に対して、よりよいまちづくりのための意識・意向調査を実施する。そのアンケート結果を踏まえ、次年度に取り組むべき事業を企画立案する。

また、住民が調査報告書を閲覧することにより、地域課題解決の意識が高まり、よいまちづくりのきっかけ作りを行う。

【事業費総額(予算)】293,530 円

【助成金交付決定額】100,000 円

【主な経費内容】印刷用紙、プリンターインク、アンケート印刷、返送用封筒、報告書印刷、アンケート返送郵送料、アンケートデータ入力、プロジェクター、ホワイトボード



6月5日(土)17:00~18:00、アンケートによる住民の意向調査事業のアンケート項目を決めるワークショップが実施され、耀く大野町まちづくり委員会の13名が、「20年後も大野町に住み続けるために、『何』が『どのように』変わってほしいですか」というテーマで話し合われました。岐阜大学地域科学部教授の富樫幸一先生もワークショップに同席し、ワークショップを見守りました。

ワークショップは、会長であり自治会長の岩田隆統さんからの挨拶でスタート。事務局の鈴木さんは、「結論の出る会議ではないので、お互いどんな意見があるのかを聞いて知ってもらえれば」としながら、今回の意見交換の手法を説明されました。

コロナ禍における今回のワークショップは、密を避けるため、各自が宿題で書いてきた付箋をひとりずつホワイトボードに貼り付けるスタイルで実施。個人が意見と共に、「いいね」度合いを自己評価しながら貼り付けた付箋に、その他の参加者が意見を付しながら再評価する形で意見交換を行いました。ホワイトボードには、大野町に住んでいる住民ならではの案が、現状をふまえた具体的な話と共に貼り付けられました。

様子を見守っていた富樫先生は、結びに「実現できることからぜひ実施してほしい。」と話されました。

事業名 三世代交流ワークショップ事業

団体名 リョクエンナーレ実行委員会

【事業概要】

子供からお年寄りまでの各世代が気軽に参加できるワークショップを子供たちの夏休み期間に開催し、その後作品展示を「ふらっと」及び緑苑小学校で開催する。

【事業費総額(予算)】155,290 円

【助成金交付決定額】50,000 円

【主な経費内容】

チラシ、コピー代、事務用品  
ワークショップ材料  
ボランティア保険  
チラシデザイン委託料  
カッティングボードなど備品

6月29日(火)13:00~15:00、緑苑中央集会所「ふらっと」において、リョクエンナーレ実行委員会と緑苑地区社会福祉協議会のメンバーが、一緒にワークショップ材料の準備を行いました。

今年度のワークショップの内容は、2年前にも実施経験のある「光る風鈴」です。団体は、5月初旬、県が「まん延防止等重点措置区域」に指定されたことにより、団体内での打ち合わせの機会を持つことができないことから、「今年度の活動ができなくなるのでは」と悩んでいました。当初予定していた「草木染め」から、実施経験がある内容に変更することにより、打ち合わせが少なくなっても各自が動きをイメージできる環境を整えられました。

2年前には、緑苑小学校・緑陽中学校の一部の授業でワークショップを実施し、小学校の作品展で展示しました。今年度は「集うことができなくても地域全体が繋がり合う事業に」という視点を加え、小中学生のみではなく、制作・展示を希望する団体を募りました。その結果、緑苑地区社会福祉協議会・緑苑小学校区青少年市民会議・緑苑小学校区体育振興会・緑苑みどり会が協力を申し出られました。今後、地域内で光る風鈴の制作を予定されています。



この取材レポートでは、各務原市まちづくり活動助成金 令和3年度交付事業の活動の様子をご紹介します。

令和3年度交付事業…<スタート助成>1年目:3事業 2年目:3事業 <まちづくり助成>1年目:2事業 計8事業にご活用いただいています。

以上の内容は、取材や団体からのヒアリングをもとに作成しました。

事業名 子育て・親力アップセミナー事業

団体名 スコーレ各務原

**【事業概要】**

子育て中の家庭の養育者を対象に、これから育っていく子ども達の健全な育成を目指して、広く子育て講座やセミナーを開催して家庭のあり方を伝え、必要に応じてサポートしていく。



【事業費総額(予算)】152,780 円

【助成金交付決定額】100,000 円

**【主な経費内容】**

- 交通費、
- ポスター、チラシ、コピー代
- 感染症対策消耗品
- 会場使用料
- 情報誌掲載広告料
- リモート配信機材レンタル代
- 体温計
- 三脚



7月1日(木)10:00~11:30、那加福祉センター集会室において、中学生までの子どもの養育者を対象にしたセミナー「家庭で育む！自己肯定感の高め方」が開催されました。感染症対策の為、会場観覧とYouTubeでのライブ配信を併用し、会場28名・オンライン18名が観覧しました。

セミナーでは、講師の杉山尚子さんから、子どもの自信のもととなる「自己肯定感」を育むために大切にしたいポイントについて、日常の関わり方など具体例を交えたお話がありました。会場では「子どもを叱りすぎてしまう」などの悩みを持つ保護者などが、真剣に耳を傾けました。

団体は、今回のセミナー開催に向け、動画配信やドローン撮影を得意とする杉山正幸さんに教えを請い、団体自身も複数回にわたってリハーサルを行うなどして、初めてのライブ配信に挑戦されました。また、会場に掲示する垂れ幕などは、市内事業者である「カー&タイヤ グリーンベース」に協力を依頼し、準備されました。スコーレ各務原の松尾恵子さんは、「通信環境から何度か動画がフリーズすることもありましたが、みなさんからのアドバイス・フォローのお陰で無事に開催できました。ありがとうございました。」と話されました。

活用してみませんか / まちづくり活動助成金

次の全ての条件を満たす活動は、まちづくり活動助成金の対象となる可能性があります。

**[助成対象団体]**

- ☑ 市内でまちづくり活動を行っている (NPO 法人の場合主たる事務所が各務原市内にある)
- ☑ 定款または規約、会則を有している
- ☑ 構成員のうち5人以上が各務原市民 (在勤・在学を含む)

**[助成対象事業]**

- ☑ 市内で実施される
- ☑ 広く市民に開かれている
- ☑ 地域や社会に貢献するまちづくり活動
- ☑ 当該年度の助成金実施期間中に自ら企画運営・実施する
- ☑ 各務原市から他の補助金・交付金を受けていない
- ☑ 営利目的でない
- ☑ 宗教の教義を広めたり、儀式行事を行ったり、信者を教化育成するものでない
- ☑ 政治上の主義を推進、支持、反対するものでない
- ☑ 特定の公職の候補者や公職にある者または政党を推薦、支持、反対するものでない
- ☑ 暴力団または暴力団員もしくはこれらと密接な関係を有するものが関与していない

◆◆このような活動に使われています◆◆

写真は令和2年度事業の様子です



ウェブページに、過年度助成事業の  
事業報告集を掲載しています

<https://www.city.kakamigahara.lg.jp/life/shiminsanka/1001857/1001859/>



各年度内「事業報告集」ページでご覧下さい

令和3年7月発行

「これから団体結成を考えている」、  
「事業内容は具体的には決まっていない」、という方も  
お気軽にご相談ください。

各務原市役所 市長公室 まちづくり推進課

☎ 058-383-1997 ✉ machidukuri@city.kakamigahara.gifu.jp